

講義名	研究演習 (全学部)		
講義コード	25229	授業形態	
担当教員	濱田 実	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM250
学部・学科	演習分野		
	・商学部(経営学科、マーケティング学科)、・経済学部(経済学科、経済情報学科)、・人間社会学部(心理社会学科、観光学科、人間健康学科) 大都市圏マルチ空港の研究		
概要説明	世界の主要大都市には複数の空港が存在しています。各空港の特徴、機能、役割分担等その実態を多面的に分析し、関西圏の三空港、とりわけ神戸空港に焦点を当て、行政、航空会社、空港運営会社が抱える経営課題を考察、その解決策に取り組みます。経済のグローバル化、科学技術の進展、LCCの台頭、新型コロナウイルスの発生など環境変化の激しい航空業界ではありますが、近将来を見据えた空港のあるべき姿、空港をベースとした神戸観光の活性化へ向けた研究を行います。また、当該演習を通じ、学生が自主的に考え、グループで討議し、その成果を発表することで、社会人として必要とされる主体性、積極性、チームワーク力、コミュニケーション能力等の素養を身につけることを目的とします。		
主な卒業論文のタイトル			
教員からの要望	全体像を俯瞰したうえで、グループワークとプレゼンテーション、空港見学(関西空港または神戸空港)を行います。チームワークを大切に積極的な発言、責任ある行動ができる学生の参加を期待します。		
選考方法	ゼミ希望申込書の記載内容や成績通知表を参考資料とするも、実際の個別面談における受け答えや姿勢を重視、総合的に判断します。特にグループワークを中心としたゼミ活動に対して前向きな意欲を持ち、主体的かつ協動的に対応できるかを確認します。		

評価方法	・ゼミ活動活性化への貢献度、授業内での討論参加と行動力 : 50% ・課題小レポート、研究発表内容 : 50%
到達目標・成果物	
教員英字氏名	研究室
Minoru Hamada	5433
最終学歴	
天理大学外国語学部英米語学科卒業	
学位	
文学士	
主な研究活動・社会活動・研究業績	・今後の航空ビジネス、空港運営のあり方 ・越境ECビジネスの展望と課題 ・グローバル航空会社の企業戦略
趣味・特技	・ヨーロッパ鉄道の旅 ・楽器演奏 ・週末近隣散歩
所属	流通科学大学人間社会学部観光学科
所属学会	
専門分野	・航空事業経営 ・航空ビジネス・ロジスティクス ・ホスピタリティ・マネジメント
担当科目	・航空事業経営論 ・ホスピタリティ・マネジメント論 ・教養特講(観光学へのいざない) ・専門基礎演習 ・研究演習 ・研究演習
備考	開講日以外の日程でフィールドワーク活動を実施する可能性がありますが、原則として全員の参加を求めます。当該活動時には交通費程度の個人負担が発生します。
実務経験の有無及び活用	「実務経験あり」 航空会社での勤務経験(本社部門、空港部門、貨物部門、海外駐在など)を活かし、実社会での体験談やエピソードも交えながら航空産業全般の実状と魅力を伝えていく。